The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	ごあいさつ
Author(s)	田口, 鐵男
Citation	癌と人. 2011, 38, p. 1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/18706
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

ご　あ　い　さ　つ

理事長　田　口　鐵　男*

皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は，公益財団法人大阪癌研究会に対し，格別のご支援，ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本財団は，昭和10年に大阪財界，有志の方々のご支援により本財団の前進である大阪癌治療研究会が設立され，西日本におけるラジウム治療のセンターとして役割を果して来ましたが，戦災にあい，大阪大学に寄寓することになり，戦後アイソトープの時代となって，昭和39年から「癌に関する学術研究助成事業と癌に関する知識の普及活動」を目的として「財団法人大阪癌研究会」と名称を改めて今日に至っております。この間，深いご理解とご支援いただきました企業を始め多くの方々，さらには賛助会員の皆様に，改めて心からお礼申し上げます。

この度，新しく制定された公益法人制度による「公益財団法人」として認定され平成23年4月1日よりスタート致して居ります。

したがいまして，今年度からは公益財団法人として，時代の要請をも考慮に入れ，民による公益の増進を目指して公益法人としての使命を果たしてまいる所存であります。

ここに，本財団の目的及び事業についてご紹介させていただきます。

この法人は癌に関する学術研究を奨励助成し，癌を徹底的に解明して，その撲滅を図るとともに，癌に関する知識を一般に普及することを目的としています。

この目的を達成するために，次の事業を全国的に行うことに致して居ります。

⑴　癌に関する研究を行うものに対する研究助成（一般学術研究助成ならびに癌臨床試験研究助成事業）

⑵　癌に関する知識の普及，啓発活動（癌と人の発行）

⑶　その他この法人の目的を達成するために必要な事業

これからも，癌医学の発展に貢献し，本財団の社会的使命を果たしたく念じておりますので，今後とも皆様方の力強いご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

＊公益財団法人大阪癌研究会理事長，大阪大学名誉教授